

防府競輪活性化計画について

【計画のフレーム】

I 防府競輪活性化計画策定にあたって

II 防府競輪の現状と課題

- 1 防府競輪場
 - (1) 施設の概要
 - (2) アクセス
 - (3) 施設の現状と課題
 - ① 各施設の状況
 - ② 施設の規模と配置
 - ③ 施設・設備の老朽化
 - ④ ユニバーサルデザイン・環境配慮の不足
- 2 駅前サービスセンター
 - (1) 概要
 - (2) アクセス
 - (3) 施設の現状と課題
- 3 経営の現状と課題
 - (1) 車券売上
 - (2) 収支及び施設整備基金への積立
 - (3) 市財政への貢献
- 4 防府競輪の取組と課題
 - (1) 既存ファンへのサービス
 - (2) 新規ファン獲得の取組
 - (3) サイクルスポーツ振興
- 5 新規ファン獲得への課題
 - (1) 競輪場に対するイメージ
 - (2) 行きたくなるような競輪場とは

III 防府競輪活性化のコンセプト

- 1 交流の輪が広がる競輪場
- 2 コンパクトで快適な競輪場
- 3 安定した経営を目指す競輪場

IV 活性化のための取組

V 施設整備の方向性

VI メインスタンドの整備

VII 周辺施設の整備

I 防府競輪活性化計画策定にあたって

防府競輪の舞台である防府競輪場は、1949年（昭和24年）9月22日の開設以来、市一般会計への繰り出しを通じて、市財政と福祉の一助に寄与してきた。

しかし、本場は開設から70年以上が経過し、一部の施設と設備の老朽化が著しく、お客様の安全安心が確保できないだけでなく、競輪場全体の雰囲気が悪くしており、早急な対応が必要となってきた。

また、全国的な傾向ではあるが、競輪人気の低迷と相まって本場への入場者数が減少し続けており、施設が過大で分散しているため、開催運営が非効率になっている。本場での開催日数が年間50日程度と少ない中で、施設を有効に効率的に使用することが、安定した経営を行っていく上で必要と思われる。

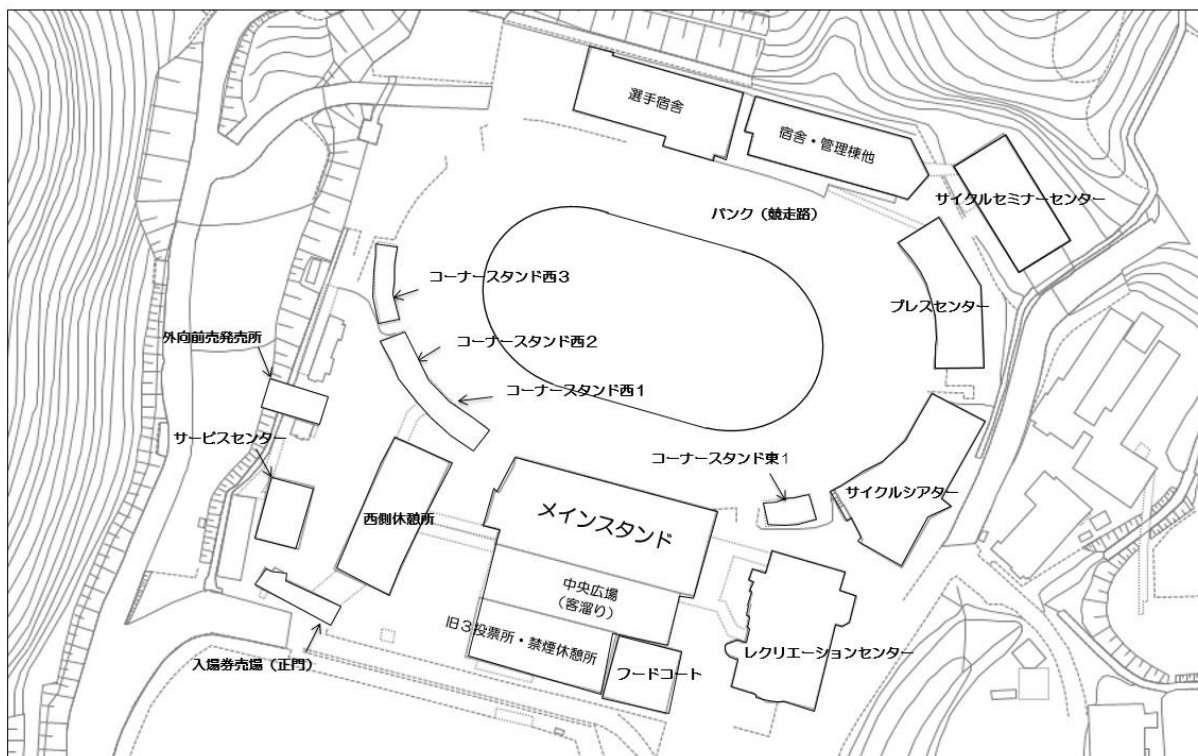
そのような中、地元所属の若手選手の活躍があるなど、防府競輪にも明るい話題がある。

開設の目的である市財政への貢献は勿論のこと、これまで以上に防府競輪が注目され、防府競輪場が市民の皆様にも親しんでいただける施設とするため、令和3年度から令和7年度を計画期間として防府競輪活性化計画を策定する。

II 防府競輪の現状と課題

1 防府競輪場

【施設配置図】



(1) 施設の概要

施設名：防府競輪場
所在地：山口県防府市国分寺町8番2号
開設年：1949年（昭和24年）
管理施行者：防府市
総収容人員：15,000人（消防法による）
座席収容人員：2,037人
敷地面積：35,026.46㎡
用途地域：なし（市街化調整区域）

(2) アクセス

防府競輪場は、JR防府駅から北に約2km、日本三大天神の1つである防府天満宮に程近い、標高約45mの高台にある。東西北は山が迫っているため、敷地が狭く、勾配がある。

公共交通機関である路線バスのバス停が付近にないため、本場開催中はJR防府駅から無料バスを運行している。マイカーでの周辺からのアクセスは、北からは天神山を越えるルート、南側からは防府天満宮の東側脇を通るルート及び周防国分寺の西側脇を通る通るルートの3つがある。いずれのルートも道幅が狭く車でのすれ違いでは注意が必要な箇所がある。カーナビゲーションが普及した現在では、競輪場にたどり着くことができないお客様は少ないと思われるが、市外県外からの誘客では、高速道路インターチェンジからのアクセス面が重要と思われる。

(3) 施設の現状と課題

①各施設の状況

現在使用している防府競輪場の施設は、最も古いものでは使用開始から約半世紀が経過しており、建物及び設備機器等の老朽化が顕著になっている。各施設の概ねの状況については以下のとおりである。

【主要施設一覧】

名称	延床面積（㎡）	建築年	構造
メインスタンド（開催本部・第3投票所を含む）	3,353.58	1967(昭和42)年	鉄骨／鉄筋コンクリート
選手宿舎	2,717.52	1999(平成11)年	鉄筋コンクリート
選手管理棟	2,219.68	1995(平成7)年	鉄筋コンクリート
サイクルセミナーセンター	928.60	改築 1994(平成6)年 1981(昭和56)年	鉄筋コンクリート
プレスセンター	864.05	1995(平成7)年	鉄骨
サイクルシアター	1,682.44	1997(平成9)年	鉄骨
レクリエーションセンター	1,642.91	1990(平成2)年	鉄筋コンクリート
フードコート	225.90	2006(平成18)年	鉄筋コンクリート
西側休憩所	679.39	1975(昭和50)年	重量鉄骨
サービスセンター	213.99	1979(昭和54)年	鉄骨
コーナースタンド東1	63.00	1969(昭和44)年	鉄骨・スレート

コーナースタンド西 1	75.04	1949(昭和 24)年	鉄骨・スレート
コーナースタンド西 2	93.78	1949(昭和 24)年	鉄骨・スレート
コーナースタンド西 3	78.66	1966(昭和 41)年	鉄骨・スレート
外向前売発売所	25.4	2004(平成 16)年	鉄骨
バンク (競走路)	(周長)333.333	2018(平成 30)年	アスファルト

a メインスタンド

1・2階が投票所、3階が特別観覧席となっている。4階には開催本部、審判室など中核となる施設となっている。投票所は全体的に暗い印象がある。エレベーターがないため、お客様を上階へ誘導できない。1階はバンクの最上部より低いため、お客様は目線を上に上げる必要がある。

1967年(昭和42年)に整備されており耐震性に問題がある。耐震工事を行ったとしても建物自体の寿命が延びる訳ではないため、今後、営業を継続するためには、撤去・改修・建替え等、何らかの対処をする必要がある。

b 選手宿舎・選手管理棟

本場開催中に出場する選手を管理する施設である。宿泊用の部屋は4人部屋となっているが、選手のプライバシー確保の観点から1人部屋が求められている。本場開催以外では使用されていないため、有効利用を図る必要がある。

c サイクルセミナーセンター (事務所)

1階が競輪局事務所、2階は自転車競技団体等の倉庫として使用されている。使用していない部分を含めた施設の有効利用を図る必要がある。

d プレスセンター

1階は競輪選手会事務所、ローラー台などの設備を備えた練習室等、2階は開催時に専門紙の記者が詰めるプレスセンターとなっている。2階は本場開催中のみの利用となるため、施設の有効活用を図る必要がある。

e サイクルシアター

2階有料席、3階イベントホールを含むものの、エレベーターを備えていないため、本来のターゲット層である高単価のお客様への訴求効果に難がある。

f レクリエーションセンター

1階が投票所、2階が計算センター、3階が特別来賓席となっている。場外のナイトー競輪開催中はレクリエーションセンター1階のみを開場している。サイクルシアターと並ぶ冷暖房完備の屋内発売場であるものの、これら2棟だけでは、本場GⅢ開催時にキャパシティー不足となる。

g フードコート

建築年が最も新しい建物である。食堂が2店舗入居可能であるが、令和2年度時点では1店舗のみとなっている。空き店舗スペースの活用について検討する必要がある。

h 西側休憩所

1階は、本場開催時にメインスタンド3階の特別観覧席指定席券の販売所やイベント会場として使用されている。

i サービスセンター

本場開催時や場外開催時にお客様の案内対応をしている。夜間は宿直担当の詰め所になっている。東側の投票所と離れて、各施設との連絡に時間がかかる。

j コーナースタンド (東1、西1・2・3)

屋根付きのコンクリート製観覧席であるが、屋根部分の老朽化により安全性に問題がある。また、観覧席としてだけでなく、バンクの土留めとしても役割を果たしている面も考慮すると、土台から撤去するのではなく、安全性とメンテナンス性を両立させた観覧席として活用すべきである。

k 外向前売発売所

競輪場西側を南北に走る市道に駐車場を介して面しており、自動車で比較的近くまで来られるため便利である。早朝7時20分から開いているが、当日分の当たり車券の払戻しは行っておらず、通常の投票締切時間よりも早い時間で締め切っている。他の施設から離れているため、運用においては非効率である。

l バンク（競走路）

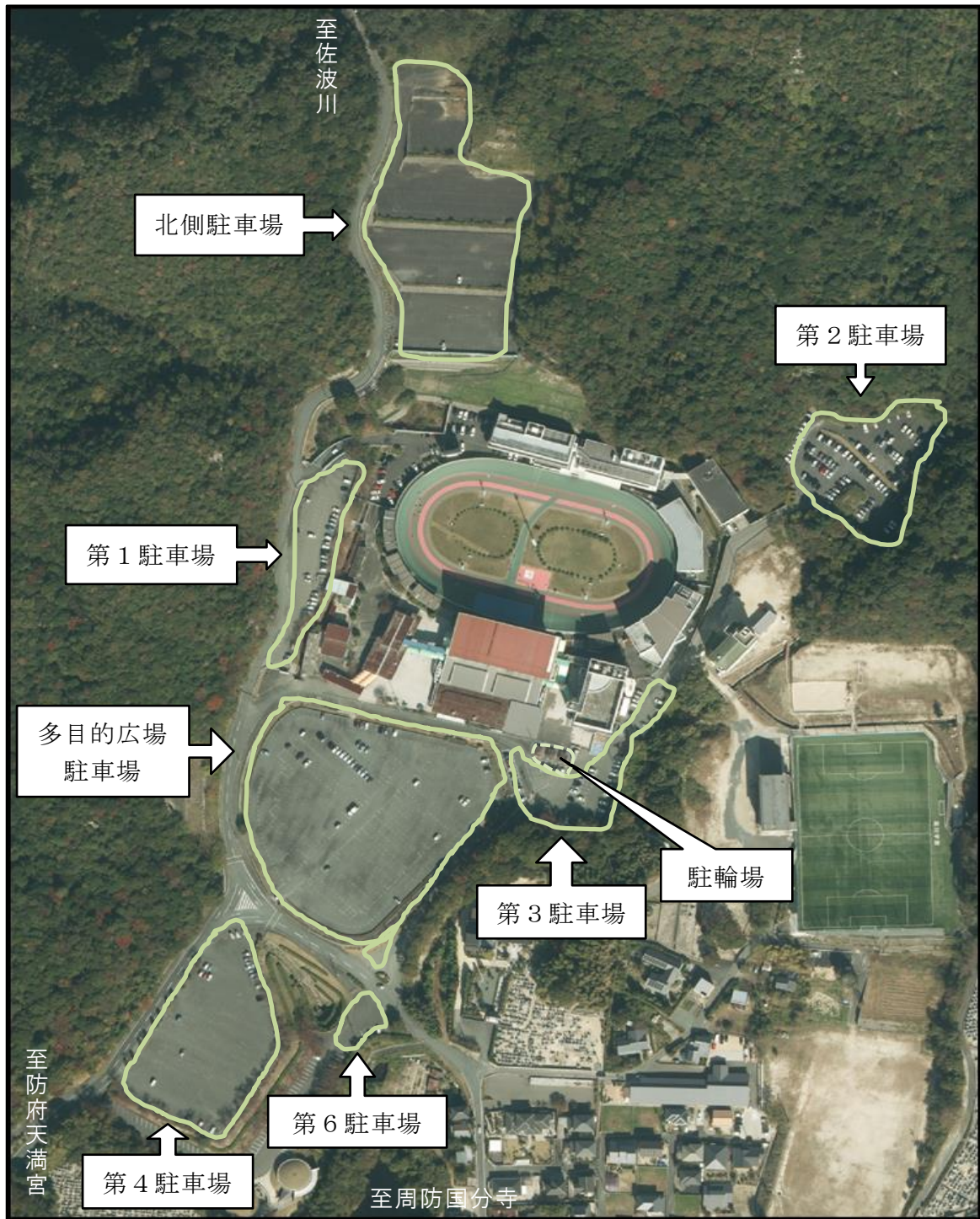
平成30年度に全面改修工事を完了しており、当面の問題は解消されている。

m 駐車場

名称	面積（㎡）	収容台数（台）	備考
第1駐車場	2,400	118	
第2駐車場	3,759	162	関係者用
第3駐車場	2,700	97	
第4駐車場	4,100	251	
第6駐車場	3,300	130	
北側駐車場	8,463	380	
多目的広場駐車場	5,500	370	

FⅠ、FⅡの本場開催や場外開催の場合、来場者数が限られるため比較的近い第1駐車場や第3駐車場、多目的広場駐車場への駐車が多いが、多目的広場駐車場が満車になるのは、GⅢの記念競輪時ぐらいである。北側駐車場に至ってはほとんど利用されていない状況である。

【防府競輪場周辺状況】



n トイレ

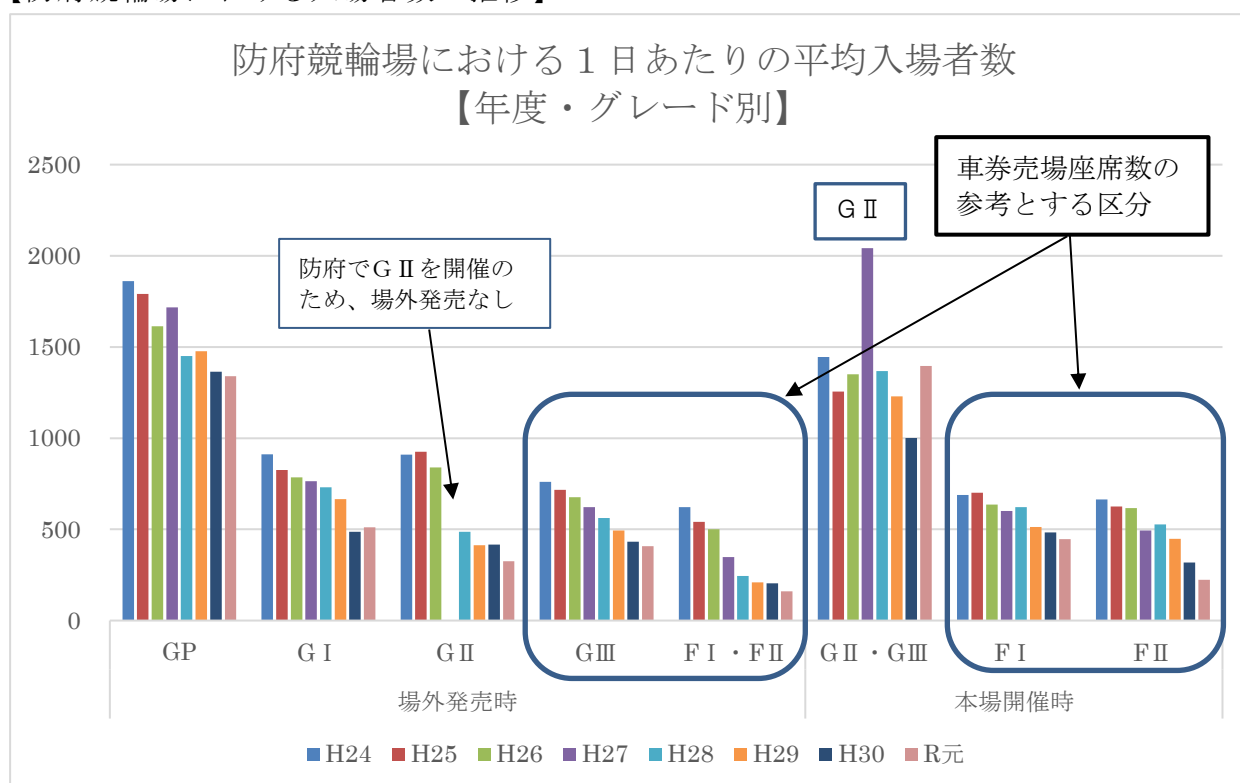
位置	男性用大便器			女性用大便器		
	和式	洋式 (温水洗浄便器なし)	洋式 (温水洗浄便器あり)	和式	洋式 (温水洗浄便器なし)	洋式 (温水洗浄便器あり)
西側無料休憩所	1		1	1		2

レクリエーションセンター 1, 2 階	2		3	3		3
レクリエーションセンター 3 階	1			2		
サイクルシアター1 階	1	1	2	2		2
サイクルシアター 2 階特別観覧席	1		2	1		1
サイクルシアター 3 階来賓席	1		1	1		1
メインスタンド 特別観覧席	1			1		

洋式トイレの設置数は、和式トイレと比較すると若干上回っているが、設置数は十分とはいえない。

②施設の規模と配置

【防府競輪場における入場者数の推移】



防府競輪場の入場者数の推移をみると、経済環境の変化やレジャーの多様化のほか、インターネット投票等への需要移行とも相まって下降線を辿っている。観客席数は合わせて1,226席あるが、年間330日程度は「G III以下の場外発売」または「F I以下の本場開催」であり、それらの令和元年度の1日の平均入場者数はいずれも500人を下回っており、席数が過多となっている。

投票所は、メインスタンドが最も多いがサイクルシアター、レクリエーションセンター、外向前売発売所にも設置されている。各施設は競輪場内で分散して立地しており、お客様の動線も多様となるため、警備・清掃等の運營業務が非効率化しているなどの問題が生じている。

【観客席数】

施設名	場所	席数（席）	備考
メインスタンド一般席	メインスタンド 2 階	774	無料
メインスタンド特別観覧席	メインスタンド 3 階	235	有料
コーナースタンド	東 1、西 1、2、3	441	無料
サイクルシアター	2 階・特別観覧席 A	68	有料
合計		1,518	

【座席数】

	発売場座席数	備考
メインスタンド中央広場	158	
メインスタンド禁煙室	38	
サイクルシアター 1 階	60	
サイクルシアター 2 階（特別観覧席 B）	70	
レクリエーションセンター	193	
合計	519	

【投票窓口数】

施設名	場所	投票窓口数 (うち自動発払窓口)	備考
第 1 投票所	メインスタンド 1 階	45 (7)	
第 2 投票所	メインスタンド 2 階	6 (0)	
特別観覧席	メインスタンド 3 階	12 (0)	
第 3 投票所	メインスタンド南側	3 (0)	
サイクル 1 階	サイクルシアター 1 階	2 (2)	
サイクル特別観覧席	サイクルシアター 2 階	5 (0)	
来賓席	サイクルシアター 3 階	2 (0)	
外向前売発売所	競輪場西側	4 (2)	
レク投票所	レクリエーションセンター 1 階	4 (4)	
レク 3 階	レクリエーションセンター 3 階	2 (0)	

③施設・設備の老朽化

防府競輪場のメインスタンドは昭和 42 年に建築され、コーナースタンドについては比較的新しいものでも昭和 44 年に整備されており、全体的に老朽化し、施設の経年劣化による維持管理上の問題も頻繁に起きている。

また、施設の老朽化に伴い、スタンド等の建屋に十分な耐震性能が保たれていないことが懸念される。昭和 56 年の「新耐震設計法」の制定前後で要求水準が大きく変化しているため、昭和 56 年以前の建設物に対しては、そのことについても念頭に入れておかなければならない。

競輪開催の主となる施設の殆どが「新耐震設計法」の制定以前に設計された建築物であるため、早期に改修を含めた再整備が必要な状態にある。

④ユニバーサルデザイン・環境配慮の不足

防府競輪場開設当時は、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方が浸透していなかったこともあり、すべての人が同じように競輪を楽しめる施設とはなっていない。

また、各施設を一体的に整備していないことから、場内には複数の段差があり、来場者の高齢化とも相まって、場内での転倒事故も報告されている。

分煙対策についても、施設の構造上等の問題から同一空間内でエリア分けしている状態であることから、完全な分離喫煙とはなっていない。健康増進法の一部改正により、施設管理者に対する受動喫煙対策が厳格化されたこと等を踏まえ、施設整備にあたっては十分留意する必要がある。

サイクルシアターについては、特別観覧席が高層階にあるにも関わらず、エレベーター設備がないため、不便であるとの声をお客様から多くいただいている。

今後、新たなファン層を開拓する意味でも、家族連れや女性等が、気軽に来訪できる環境づくりが求められていることから、ユニバーサルデザインによる施設整備が必要となる。

2 駅前サービスセンター

(1) 概要

施設名：防府競輪場前売専用場外車券売場

所在地：山口県防府市天神一丁目1番30号

竣工年：1997年（平成9年）

管理施行者：防府市

駐車場収容台数：26台

敷地面積：1,332 m²

用途地域：商業地域（建ぺい率80%、容積率400%）

(2) アクセス

駅前サービスセンターは、JR防府駅から東に約400mの山陽本線の鉄道高架の下にある。駅から近い公共交通機関でのアクセスが良く、また、南北の両側入口がそれぞれ市道に面しているため、マイカーによるアクセスも問題ない。駐車場収容台数が26台であるが、GI以外の通常開催時であれば十分足りている。

(3) 施設の現状と課題

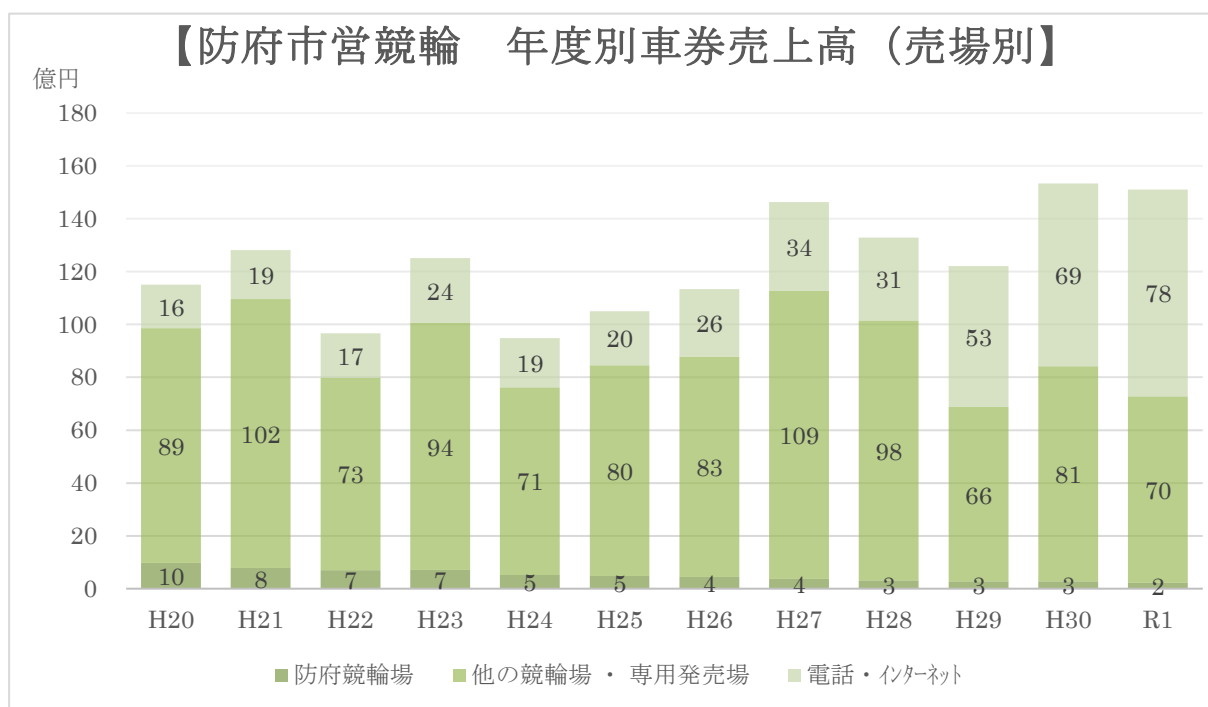
早朝7時から開いている防府競輪場の外向前売発売所と同じ前売発売所である。借地であるため維持経費がかかるが、場外壳上額の約1/3を売上げている。専用場外車券売場であり、テレビモニターを設置しておらず、イベントも開催していないため、「忙しいけど車券が買いたい」というファンの皆様に利用してもらっている。現在の施設は建築後20年以上経過しており老朽化が進んでいる。

3 経営の現状と課題

(1) 車券売上

車券売上の推移について、次ページで年度別車券売上高を売場別で示しているが、過去10年では例外はあるが少しずつ増加している。これは、防府競輪だけでなく、競輪全般でもそうであり、競艇、地方競馬及びオートレースの他の公営競技全般でも同様である。インターネット投票などの普及により、防府競輪場本場での売上は下がっており、全体のわずか2%

しかない。

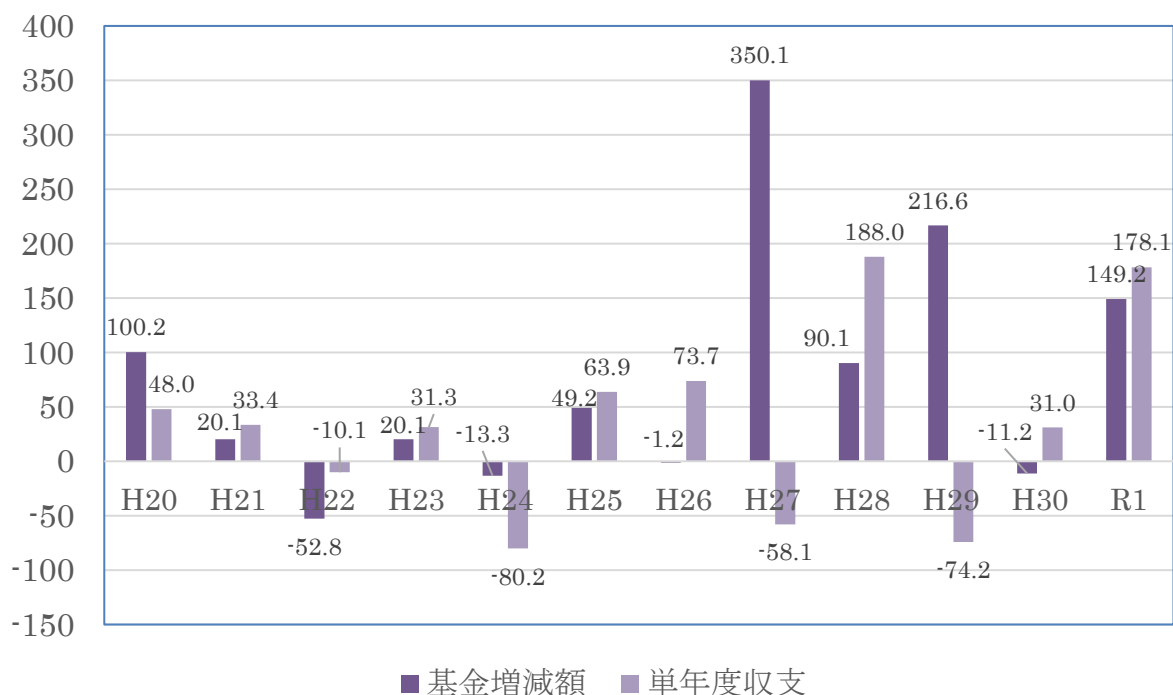


（２） 収支及び施設整備基金への積立

以下の２つのグラフでは、平成 20 年度からの防府競輪の収支と施設整備基金への積立の状況が確認できる。若干赤字の年度もあるが、約 10 年の期間で約 8 億円の基金を積立てることができたことが分かる。

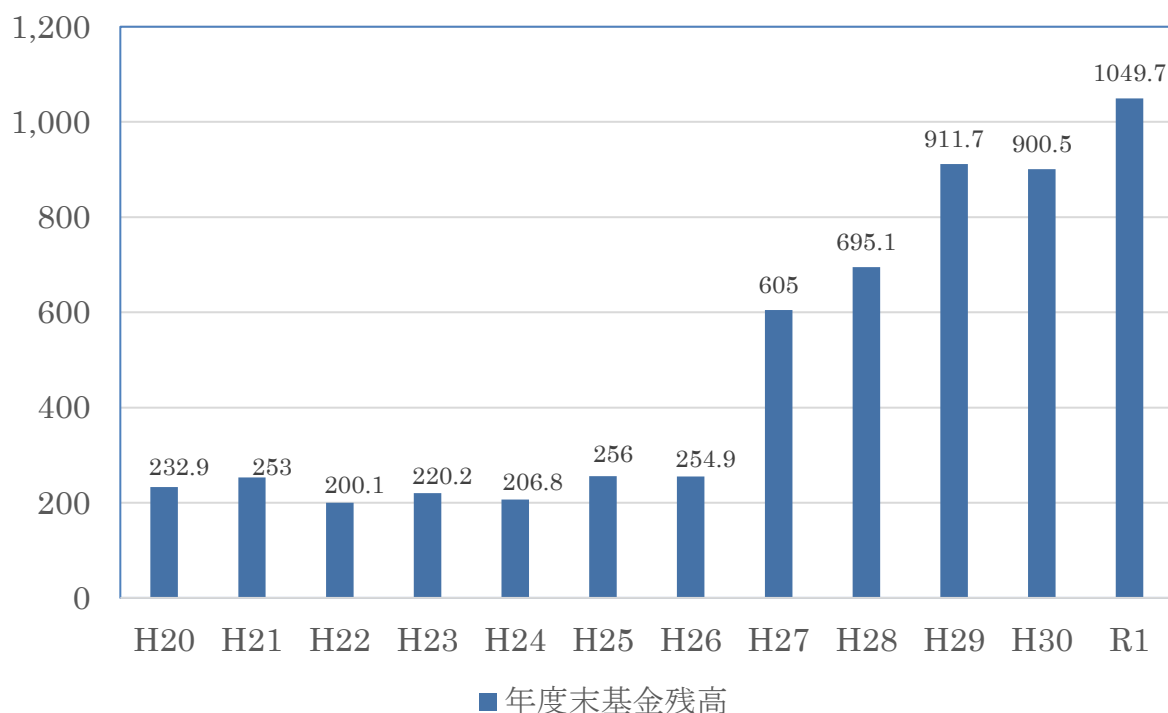
（単位 百万円）

【基金増減及び単年度収支の推移】



(単位 百万円)

【施設整備基金の年度末残高】



(3) 市財政への貢献

平成20年以降は、「平成21年7月中国・九州北部豪雨」の被災地の復興を支援するため、防府競輪場において『中国・九州北部豪雨災害復興支援競輪』を開催し、9千6百万円を一般会計へ繰出しているが、これ以降は繰出しは行われていない。令和2年度は1千万円を繰出す予定であるが、継続的に一般会計へ繰出すことができれば本来の公営競輪の目的に沿うことになる。

4 新規ファン獲得への課題

(1) 競輪場に対するイメージ

平成28年度にワークショップイベント「競輪選手と一緒にイベントを考えよう！」で競輪ファンの参加者から出された意見や、令和2年4月に30歳代から50歳代の防府市在勤の一般女性に対して実施したアンケート結果によると、防府競輪場に対するイメージとしては、以下のようなマイナスイメージが目立った。イメージを改善していくための対策が求められる。

- ・ 建物が古い、汚い
- ・ 男性や高齢者の方ばかりで行き辛い
- ・ ギャンブルのイメージがある
- ・ 分煙をしっかりと欲している
- ・ 小さい子連れ用のトイレを作ってほしい
- ・ 滞在できるスペースが少ない（特に付き添いの女性や子供のいる主婦）

(2) 行きたくなるような競輪場とは

上記のアンケート中の質問で、防府競輪の活性化に向けた提案型の質問を行った。新たな競輪ファンを獲得するには、まずは競輪場に足を運んでもらうことが必要と思われるので、いただいた意見を参考に取り組みることとする。

Q：防府競輪場がどのようになってら来てみたいか。

- ・ギャンブル色の強い競輪を自転車競技、スポーツとして身近に感じられるイベントで健康的なイメージになれば。
- ・施設は明るく清潔に改修してほしい。
- ・レースの仕組みが分かりやすく、車券をどう買えばよいか理解できれば。
- ・親子で参加できるようなイベントがある。
- ・綺麗な場所になったら。
- ・車券を買わない人でも楽しめるような、散歩ついでに寄れるくらいの気軽な場所になれば。
- ・カフェなどの女性が楽しめる場所や、可愛いものを扱っている店があれば。
- ・子供が楽しめる場所があれば。

Q：女性が競輪に興味を持つためには何が必要か。

- ・競輪にこだわらず、自転車競技としてロードバイクの講習や、ロードバイクの大会のアピールなどで自転車の魅力をアピールする。
- ・自転車の販売店やメーカーとタイアップして自転車関連グッズの試着や自転車の試乗ができるイベントなどでグループで楽しめる仕掛けがあれば。
- ・スター選手がもっとPRされること。
- ・イケメンを取り上げる。
- ・女性専用フロアの設置
- ・競輪場対抗の〇〇GP（選手、グルメ、キャラ等）の開催
- ・競輪開催日に女性が興味を持ちそうなイベントの開催（ハンドメイドフリマや雑貨マルシェ）
- ・競輪以外で自分に得になる要素が必要かも。

Q：市民に親しまれる防府競輪場にするためにはどのようにすべきか。

- ・選手がメディアに出て、選手の知名度がもう少し上がれば。
- ・様々のイベントや開催日に関係なく立ち寄れる施設の充実が必要。
- ・小さい遊園地や公園を作って、ファミリーで来やすくする。